

# チベットの社会と歴史

関連するSDGsの国際目標



人間文化学部 国際コミュニケーション学科 教授 棚瀬 慈郎  
研究分野 : 文化人類学、チベット地域研究

## ■チベットの村落社会研究

インド、ヒマーチャル・プラデーシュ州やジャンムー・カシミール州のチベット系民族の住む村落では、高い標高に適応した生業と、独特の社会システムを発達させてきました。またこの地域では仏教が深く信仰され、各地に壮麗な僧院建築が存在します。チベット社会の特徴と、特に宗教との関連について研究してきました。



西チベット、スピティ地方の僧院



東チベット、ラブラン僧院にて

## ■チベット近代史への関心

チベットを巡る現在の政治状況を理解するためには、19世紀末から20世紀半ばに至る歴史を検討する必要があります。特にダライラマ13世の政治的アドバイザーであり、外交を担ったアグワン・ドルジーエフ(1854-1938)に着目し、その評伝を発表しました。

## ■現代中国における「少数民族」としてのチベット族について

現代中国では、チベット族は55の少数民族の一つとしての位置づけをされています。中国で社会調査をすることは色々と困難を伴いますが、少数民族政策や経済的変化の影響について研究を進めています。